



高校生議会

市民の会

増田 充 議員



またその活動を市として「認定」することにより日常の活動を支援してはどうか。

市 ゆるやかな関係をそして日常活動支援を

郵送やソーシャルメディアの活用を通じて、随時市政情報の提供などゆるやかな関係を維持したい。また、地域に対してグループの信頼性をどのように説明するかが課題と聞いており、「認定」も含めより活動しやすくなるように工夫していく。(赤松理事)

まちづくり どう進める「共生のまちづくり」

議員 「障害者共生条例」に続き「部落差別解消法」の制定を受け条例制定の考えは。また、外国人労働者受入の議論の進展により在住外国人増加も予測されるが、共に生きるまちづくりの条例が必要では。

市 誰もが安心して暮せる「まち」へ施策推進！

個別の条例ではなく、部落問題をはじめ障害のある人や外国人、性的マイノリティの人たちなど全ての市民一人ひとりの人権がお互いに尊重され、支え合い、誰もが安心して暮せる「共生のまちづくり」を進めていくための方策の検討を進める。(赤松理事)

他の質問 ● 森市長1期目の総括について ● 公共交通の充実に向けて ● 学校の再編について ● 就学前教育・保育無償化が本市に与える影響について ● 三田市民病院について

日本共産党三田市議員

長谷川 美樹 議員



学校再編 中学校の再編計画は、いったん白紙へ！

議員 「クラス替えができず、人間関係が固定化する」「免許外指導解消」「部活動問題解消」を学校統廃合・再編に解決を求めるのはあまりにも拙速すぎる。市独自予算で教員確保や工夫、これまでの少人数教育の成果を活かし、家庭・地域・学校での教育の本質議論を進めるため、子どもも含めた十分な議論が必要。一旦計画の白紙を求める。

市 白紙ではなく、各小学校区など丁寧な説明でご理解を

今回の提案は、再編の是非も含め地域で議論するためのたたき台としている。今後一層の小規模化が進む中で、子どもが学ぶ環境を整えるためにも再編が重要と考える。小学校区単位の説明会開催などで、皆様の不安やご意見等を丁寧に聞き、話し合いを重ねる。現時点で、白紙にすることは考えていない。(鹿嶽教育長)

子育て 中学卒業までの医療費完全無料化復活を

議員 有料化で「がっかり」「はしごをはずされた」の声。市の子育て応援は父母や子どもへの安心・信頼のメッセージ。親の負担軽減で安心子育てへ子ども医療費の完全無料化の復活を求める。

市 完全無料化復活は考えていない

今回の改正は、負担の上限額を設定する中で将来も持続可能な医療費助成制度として再設計し、次の世代に負担を先送りできない強い危機感から改正したものであるため、元の制度に戻す考えはない。(田中健康福祉部参事)

国保 国保税額引き下げで市民の負担軽減を

議員 かつての社会保険（協会けんぽ）等と比べて、倍近く高い国保税が生活を苦しめている。子どもが多いほど負担が重くなる国保の特有な制度。他市でもおこなっている市税の負担で、協会けんぽ並みへ国保税引き下げを求める。

市 市税の負担で国保税を引き下げることが考えていない

国保と協会けんぽの保険料負担の差異は、制度の違いによるもの。国県に対し負担割合の増額や子どもの保険料軽減を要望している。市税による保険税率の引き下げは、受益のない一般市民への負担の転嫁となるため適切でない。(田中健康福祉部参事)

他の質問 ● 削減型財政のあり方について ● 三田市民病院は現在の場所で市直営の運営で公立病院の役割を果たすことについて



藍中学校